

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社マスネットワーク	所在地：長野県松本市巾上 13-6
評価実施期間：平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 10 月 27 日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050192 060861 060773 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成 26 年 7 月現在）

事業所名：特別養護老人ホーム あさぎりの郷 （施設名）	種別：介護老人福祉施設 短期入所生活介護
代表者氏名： 理事長 大槻 憲雄 （管理者氏名）施設長 三沢 茂	定員（利用人数）：64 名(64 名) 併設 短期入所生活介護 16 名(13 名)
設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会	開設年月日：平成 14 年 4 月 1 日
所在地：〒399-3102 長野県下伊那郡高森町吉田 481-1	
電話番号：0265-34-3630	FAX 番号：0265-34-3680
ホームページアドレス：www.ja-naganokai.or.jp/facilities/asagiri/index.php	

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

【概況】

J R 駅に近く、高森町の街中に位置して隣には下伊那厚生病院がある。広い敷地には地域のボランティアが整備した草花や池があり、施設内は木をふんだんに使い暖かい雰囲気作りとなっている。また、ボランティアや地域の人たちが集うことのできる地域交流センターも併設されている。

特に良いと思う点

1. (質の向上に向けた取り組み)

研修委員会を中心に、資質向上やレベルアップを目指し、全職種が参加する施設内研修を開催し、施設外研修も積極的に参加できるように配慮がされている。海外研修にも職員を派遣して、トランスファーを学び、介護改善委員会では利用者・介護者ともに“つらい介護からやさしい介護へ”をテーマに研修成果を活かした取り組みを行っている。

2. (地域との関係)

運営方針に「地域を支える特養として・・・」を掲げ、ボランティアによる喫茶のオープン、定期的なボランティアの訪問、小中高生の福祉体験や実習生の受け入れ、地域行事への参加等地域との関わりを大切にしている。さらに、事業所が有する機能を地域で活かし、トランスファーの技術講習会、介護教室など地域住民に向けた活動を展開している。

3. (働きやすい環境)

継続して働き続けられるよう下伊那厚生病院の託児所“いちだっこ”を共に利用できるようになっている。職員研修の充実、相談体制の整備、委員会活動等を通して職員関係も穏やかで、職場の雰囲気が良好である。

特に改善する必要があると思う点

1 . (中・長期計画の策定)

現在、事業所基本計画はあるが、事業所としての中・長期計画は策定されていない。地域の高齢者のデータの収集、地域ニーズの把握がなされ、将来展望は持っている。今後、法人と検討の上、中・長期計画を明確にして事業展開されることが望まれる。

2 . (マニュアルの整備)

標準的な介護の実施方法については、基本方針及びマニュアルにおいて整備されている。一部、係会のあるサービスについては見直しや変更が定期的に行われている。しかし、マニュアルの内容が古いものもある。今後、標準的な実施方法のマニュアルを見直し、定期的に職員全体でマニュアルの確認をするなど、さらにサービスの質の向上を期待したい。

3 . (人事考課の取り組み)

人事考課の意義を理解され、導入について検討されており、法人作成の自己点検シートを活用している。今後、人事考課者の研修も予定されているが、開始前には職員に丁寧に説明し、実施後には個人面談を行う等、個別の研修計画を作成することも含め職員の意欲を高める取り組みを期待したい。また、評価基準を明確にするなど、より透明性をたかめていくことが望ましい。

4 事業評価の結果と講評

共通項目（別添 1）

内容評価項目（別添 2）

5 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合（別添 3 - 2）

6 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）

（平成 26 年 11 月 5 日記載）

当施設の事業運営を定期的に検証する第三者評価は有意義な取り組みであると感じました。今回の受審の中で、今まで気づかなかったいくつかの点について「気づき」をいただきました。「特に改善する必要があると思う点」については、課題を見出しながら、早急に改善して参りたいと考えております。今後においても、「利用者がその人らしく安心して安全で満足できる生活を送ることができる」様サービスの提供に努めて参ります。